演習Ⅲ

科目ナンバリング　SEM-401
必修　　2単位

吉川　智志

1. 授業の概要（ねらい）

本授業のねらいは、日本国憲法の正確な知識を習得させるとともに、現代的な社会問題について、自力で憲法学的な検討を行えるようにすることにあります。取り上げる問題は、学生の希望に基づいて決定します（従って各回の授業内容は暫定的なものです）。

2. 授業の到達目標

①憲法の正確な知識を習得する
②現代的な社会問題について、自力で憲法学的な検討を行えるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

報告内容、発言などの平常点（100%）で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
山本龍彦・横大道聡　『憲法学の現在地』　日本評論社

5. 準備学修の内容

報告の準備および課題文献の精読

6. その他履修上の注意事項

報告の担当が割り当てられた場合には、きちんと準備をしてくること。また、間違えることを恐れず、積極的に発言すること。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション（授業の進め方の説明）
【第2回】　報告のやり方の説明
【第3回】　国民主権
【第4回】　国家目標と国家目標規定
【第5回】　立憲主義
【第6回】　天皇制
【第7回】　明治憲法と日本国憲法
【第8回】　憲法改正の限界
【第9回】　法令の合憲性審査の思考様式
【第10回】　人権の国際的保障
【第11回】　人権制度と憲法
【第12回】　私人間における権利の保障
【第13回】　プライバシー権
【第14回】　法の下の平等
【第15回】　まとめ